

財務システム

(ERPシステム等の) 財務システムとの統合を設定するには、次のような役職が必要となります。

- 統括システム管理者

Almaの受入には、資料の発注とベンダーからの資料の受け取りが含まれ、注文処理とベンダーからの請求書の処理を行います。これらが取引先機関の財務システムで管理されている場合、取引に関する情報は、これらの外部システムからAlmaにインポートするか、またはAlmaからこれらのシステムにエクスポートする必要があります。このようにして、資金と注文に関する財務情報は、外部システムと定期的に同期されます。

Almaと財務システム (XSDおよびXMLサンプルを含む) の統合の詳細については、<https://developers.exlibrisgroup.com/alma/integrations/finance>を参照してください。

財務システムへのエクスポートおよび同システムからのインポートを設定するには、システムのFTP接続を設定し、実行するアクションの統合プロファイルを作成します。統合プロファイルを作成することにより、スケジュールで自動的に実行するジョブや、手動で実行できるジョブを定義できます。

ジョブがスケジュールされている場合は、作業の監視ページのスケジュールタブ (が[スケジュールされたジョブの表示](#)を参照) に表示されます。ジョブは、ジョブの実行時または実行後に作業の監視ページの【実行中】タブまたは【履歴】タブにも表示されます。ジョブは次のとおりです。

- 支払い確認のインポート - [プロファイル使用のERPインポート <integration profile>](#)

支払い確認をERPからAlmaへインポート。これにより、Almaは支払済みアイテムをワークフローの次のステップに移動できます。

- 支払い請求書のエクスポート - [プロファイルを使用したERPエクスポート <integration profile>](#)

請求書をAlmaからERPへエクスポート。各請求書を個別のファイルにエクスポートします。請求書発行者の名前は、ファイル内のフィールドの1つに表示されます。

- 資金割当ローダー - 資金割当ローダー (スケジュールされたジョブのリストでは「[Txジョブ資金の更新](#)」と表示されています)。

最新の資金残高を財務システムからAlmaへインポート。これにより、Almaの資金の割り当てがERPの資金の割り当てと一致するように変更されます。入力ファイルの形式については、[ファンド情報の同期](#)を参照してください。

- 発注 (PO) のエクスポート - 発注(PO)ジョブのエクスポート (このジョブはスケジュールできません)

送信されたPOをAlmaから財務システムにエクスポートします。

- 注文明細 (POL) のエクスポート - 注文明細 (POL) ジョブ

完了またはキャンセルされた注文明細をAlmaから財務システムにエクスポートします。一回のジョブでエクスポートできる注文明細は最大1,000件までです。1,000件以上の注文明細がエクスポート用にマークされている場合、ジョブは最初の1,000件をエクスポートした後、ジョブレポートページに、ジョブ再実行をユーザーに示唆するアラートを書き込みます。

Note

ジョブで接続の問題が発生した場合（たとえば、リモートシステムに到達できない、またはFTPエラーがある場合）、処理できずに残されたレコードはすべて次のジョブで処理されます。

注文と請求書のエクスポートとインポートを設定するには：

1. [S/FTP接続の設定](#)での説明に従い、Almaおよび財務システムで使用されるS/FTP接続を設定します。（サンドボックス環境または前「ライブ配信」環境で作業している場合は、[Alma試行期間中に使用できるS/FTPの設定](#)での説明に従い、必ず所属の機関用に許可されたS/FTP接続と定義されたS/FTP接続を使用してください。）
2. 統合プロフィールリストページ（[設定メニュー](#)→[一般](#)→[外部システム](#)→[統合プロフィール](#)）で、統合プロフィールを追加を選択します。統合プロフィールウィザードの最初のページが開きます。
3. このページで次のアクションを実行します。
 1. 定義するプロフィールのコードと名前を入力します。
 2. 統合タイプドロップダウンリストから、財務を選択します。
 3. **S/FTP 接続タイプ**ドロップダウンリストから、[ステップ 1](#)で定義したFTP接続の名前を選択します。
 4. 統合しようとしている財務システムのタイプを表示してください（Ex Librisへの情報提供のため）。これは必須です。
 1. システムのリストから[その他]を選択すると、[システムの説明]フィールドが開き、さらなる詳細が表示されます。
 5. 任意で、設定しようとしている統合の説明を入力します。

Note

この統合タイプでは、デフォルトのチェックボックスは機能しません。

The screenshot shows a form titled 'Financial Integration Profile Definition - Page 1'. It contains the following fields and options:

- Code * (text input)
- Name * (text input)
- Integration Type * (dropdown menu, selected: Finance)
- S/FTP Connection Type * (dropdown menu)
- System (for Ex Libris' informational purposes) * (dropdown menu, selected: Other)
- Default (checkbox, unchecked)
- System Description (text area)
- Description (text area)

財務統合プロフィールの定義 - ページ1

4. 次へを選択します。ウィザードの2ページ目が表示されます。
5. このページでは、以下のようなアクションを実行できます。支払い確認をインポート、支払い請求書をエクスポート、資金割当ローダー、注文承認をインポート、注文(PO)をエクスポートおよび注文明細(POL)をエクスポート。
 1. アクティブまたは非アクティブを選択します。インポート/エクスポートジョブを実行するには、アクティブを選択します。デフォルトでは非アクティブが選択されています。
 2. 入力ファイルパス/出力ファイルパスフィールドに、S/FTP接続の作成時に指定したパスのサブディレクトリを入力します。たとえば、S/FTP接続の設定時にサブディレクトリフィールドにAlmaと指定し、出力ファイルパスに支払いを入力すると、この請求書はAlma/支払いディレクトリにエクスポートされます。アクション

ンがアクティブの場合、ファイルパスは必須です。

Note

ある入力ファイルパス フィールドの値は、その他のいかなる入力ファイルパス および出力ファイルパスの値とも一致できません。

3. 以下のような場合には、それぞれのジョブに固有のフィールドを設定してください。
 1. 資金割当ローダージョブの場合、ファイル拡張子フィールドに、資金割当のためにインポートされているファイルの種類を**.CSV形式 (.csv)** または **エクセル形式I (.xls)**、いずれかから選択してください。
 2. 支払い請求書をエクスポートジョブの場合、ファイルを各請求書の所有者（図書館）別に個別に分割するため、所有者で分割を選択します。「所有者で分割」を行うと、エクスポートされたファイル名は以下のように名付けられます。<LibraryName>_<OwnershipType>...xml。<OwnershipType>は、所有者が図書館であればLBR、その他の機関であればINTと示されます。たとえば、BC01_LBRのようになります。
 3. 注文 (PO) をエクスポート ジョブでは、次のプロセスに移る前に注文 (PO) がERP承認される必要がある場合、ERP番号で統合を選択します。チェックすると、ERP番号がない場合、注文 (PO) はERPにエクスポートされます。その後、注文 (PO) は発注承認をインポートジョブを使用して、Almaに再インポートされます。オフにすると、注文 (PO) はERPに送信されると同時にベンダーに直接送信されます。
4. スケジュールドロップダウンリストから、事前定義されたスケジュールオプションを選択します。未スケジュールを選択すると、請求書のインポート/エクスポートジョブは、（実行を選択することにより）手動で開始した時のみ実行されます。詳細については、[財務ジョブを手動で実行するには](#)を参照してください。ここでは注文 (PO) をエクスポート ジョブはスケジュールされていないことに留意してください。注文 (PO) をERP/ベンダーに送信する準備ができれば、ジョブはいつでも実行できます。
6. 保存を選択します。設定した統合プロファイルは、統合プロファイルリストに表示されます。ジョブをスケジュールした場合、ジョブの監視ページに表示されます。

[財務ジョブを手動で実行するには：](#)

Note

エクスポート・ジョブを実行するには、最初に提出チャンネルとともに **InvoicePaymentLetter** レターをアクティブにする必要があります。[レターの有効化/無効化](#)を参照してください。

1. [統合プロファイルリスト] ページで、プロファイルを見つけ、アクションリストの行で編集を選択します。「一般情報」タブが表示されます。

Note

連絡先情報 タブは現在使用できません。

2. アクションタブを選択します。定義した詳細が表示されます。
3. インポート、エクスポート、資金割当、または注文明細エクスポートジョブをすぐに実行するには、関連セクションで、実行を選択します。ジョブが実行され、設定されたFTPロケーションにファイルが送信されるか、またはそこから取得されます。AlmaでEメール通知を有効にしている場合、Eメールで通知を受け取ります。

支払い請求書をエクスポートジョブでは、XSDバージョン1が要求されない限り、更新されたXSDフォーマットを使用フィールドはそのままにします。XSDのバージョンの詳細については、<https://developers.exlibrisgroup.com/..ations/finance>を参照してください。

注文 (PO) のエクスポートを手動で実行するには、発注 (PO) をエクスポートセクションで、失敗したオーダーを再実行するを選択します。それまでに失敗したすべての注文がエクスポート用に送信され、ページの上部に確認メッセージが表示されます。

ジョブのステータスや、処理中のファイルの数などを表示するには、[実行中のジョブを表示](#) や [完了ジョブの表示](#) を参照してください。

Note

財務ジョブにおける正常に完了のステータス表示は、必ずしも請求書が正常にインポート／エクスポートされたということを意味するものではありません。そうではなく、単にジョブがエラーなしで完了したということを意味します。
